

## ◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(男性, 40歳代)あります。推定感染地域は国外(マレーシア)です。本年初めての報告となっています。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は9.63(395例)で、前週 9.68(397例)からほぼ横ばいとなり、過去5年平均値を上回っています。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は1.98(81例)で、3週連続で増加しており、過去5年平均値を上回っています。
- ・ **突発性発しん**の定点当たり報告数は0.59(24例)で、2週連続で増加しています。過去5年平均値を上回っており、本年で最も多い報告数となっています。今後の動向にご注意ください。
- ・ **咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は0.34(14例)で、2週連続で増加しており、過去5年平均値を上回っています。例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。昨年は、6月に流行のピークを迎えた後いったん落ち着きましたが、11月以降増加に転じ、12月に最大の報告数となりました。本年に入ってから、年末年始を含む平成26年第1週を除き、過去5年平均値を上回る状態が続いており、さらに増加傾向にありますので、動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年1月から3月末までの報告数は、AIDS患者 1例、HIV感染者 1例の計2例です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 153例(肺結核 76例, その他結核 33例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 38例】
- ・ 四類: **デング熱** 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類: **レジオネラ症(肺炎型)** 2例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: **アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)** 1例(第20週追加分)【1月以降の累積報告数 6例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

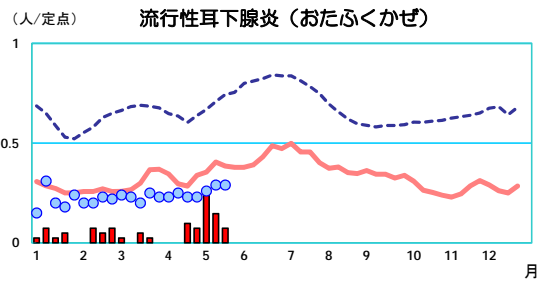
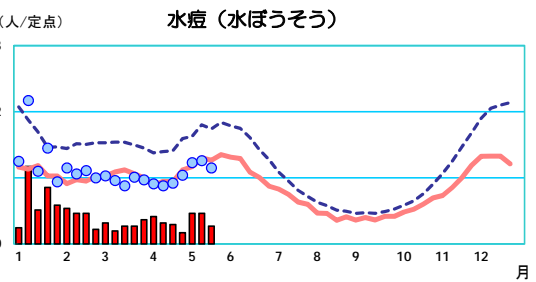
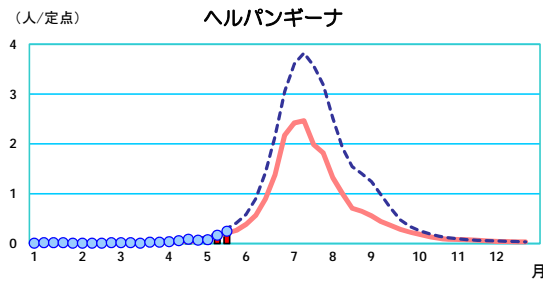
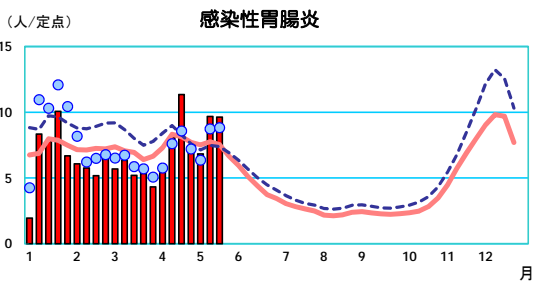
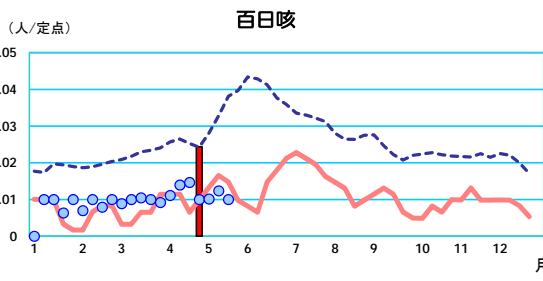
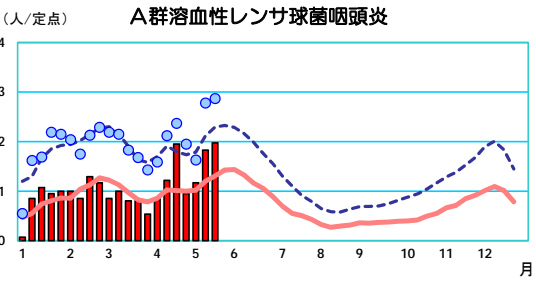
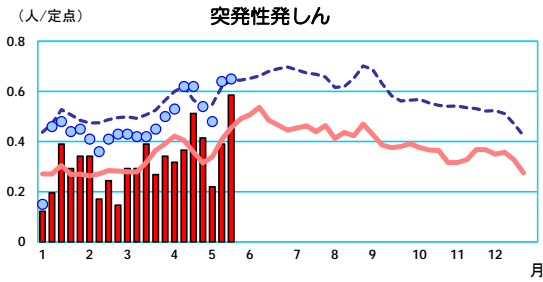
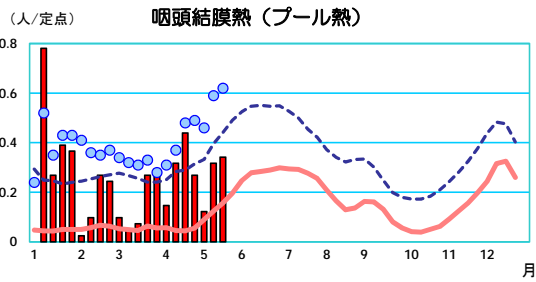
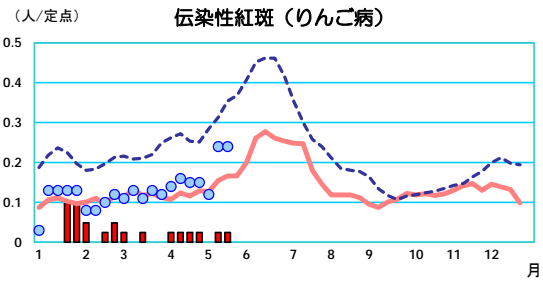
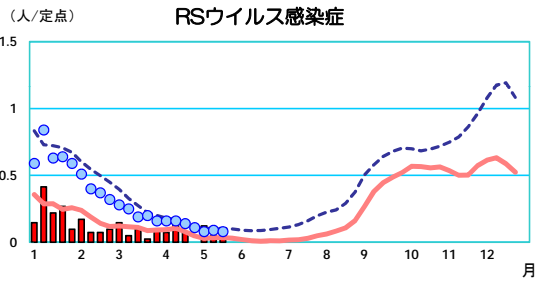
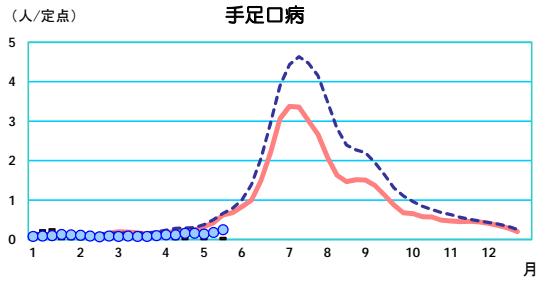
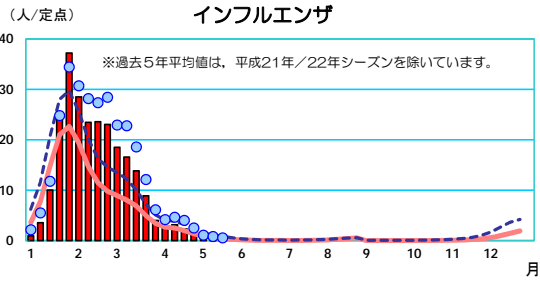
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.24	16
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.63	395
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.98	81
	③ 突発性発しん	0.59	24
	④ 咽頭結膜熱	0.34	14
	⑤ ヘルパンギーナ	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注) 京都市のデータは、平成26年5月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



## 第21週(5月19日～5月25日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年1月から3月末までの報告数は、AIDS患者 1例、HIV感染者 1例の計2例です。年齢は40歳代 1例、50歳代 1例で、性別は男性 1例、女性 1例です。推定感染経路はすべて性的接触(異性間2例)となっており、推定感染地域は国内 1例、国外(中華人民共和国) 1例です。

平成12年以降の累積報告数は214例で、性別は、男性 198例(92.5%)、女性 16例(7.5%)となっています。推定感染経路は、性行為感染が169例(79.0%)を占めています。中でも、同性間の性行為感染が94例と最も多く、全体の43.9%を占めています。

### 年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年	15	5	10	15	0
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	7	12	18	1
平成26年(1～3月)	2	1	1	1	1
総計	214	70	144	198	16

### 推定感染経路別 年次別報告数の推移

